

中野区で緊急応援 プレミアム付商品券事業始まる!

コロナに負けない!
なかのわくわく商品券



中野区緊急応援プレミアム付商品券事業について

長期化する新型コロナウイルスの感染拡大により、区民生活や区内経済に大きく影響を及ぼす中、区民生活を支える区内商業を応援するため、30%お得なプレミアム付の区内商品券、総額7億1,500万円(11万セット)が販売されます。

お問い合わせ
中野区商店街振興組合連合会事務局
コールセンター
TEL.03-6454-1642

受付時間：月曜日から金曜日までの
午前9時30分～17時まで
(祝休日、年末年始を除く)

プレミアム率 30%の上乗せ

発行形態 商品券500円券13枚つづり1セット
券面額合計6,500円を5,000円で1,500円分もお得!!

500円券13枚つづり1セット

券種など	飲食店のみで利用できる券	1,500円分(500円券×3枚)
	飲食店・一般商店で利用できる券	2,500円分(500円券×5枚)
	飲食店・一般商店・大型店で利用できる券	2,500円分(500円券×5枚)

使用期間 2020年12月1日(火)～2021年2月28日(日)

取扱店 約1,200店舗 詳細は特設HPで
<https://www.nakano-wakuwaku.com>



65歳以上の方は インフルエンザの予防接種を 無料で受けられます!

都議会公明と区議会公明が連携して進めて参りましたコロナ禍のなか、高齢者の健康を支援するためのインフルエンザワクチンの接種助成が始まっています。予診票が届いた方はお早めの接種をお願いします。

予防接種無料期間

2020年10月1日(木曜日)
～2021年1月31日(日曜日)

対象の方

区内在住の方で、12月31日現在、下記のいずれかの条件を満たす方

- ① 65歳以上の方
- ② 60歳から64歳までの方で心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能のいずれかに障害があり、身体障害者手帳1級相当

*対象の方には、「高齢者インフルエンザ予防接種予診票(自己負担額免除)」・「契約医療機関一覧」・「ご案内」が郵送されています。

お問い合わせ
健康福祉部 保健予防課
TEL.03-3382-6500
東京都中野区中野二丁目17番4号



中野区立総合体育館 (キリンレモン スポーツセンター)が開設

10月1日より、平和の森公園内にある新しい中野区立総合体育館(キリンレモン スポーツセンター)の一般利用が開始されました。午前7時から午後10時15分までの間で、団体及び個人が利用できます。様々なスポーツの公式規格を満たした多機能な施設で、「東京2020オリンピック・パラリンピック」の卓球の公式練習会場として使用される予定です。地下1階、地上3階の体育館で、メインアリーナ、サブアリーナ、2つの武道場のほか、トレーニングルーム、多目的室と会議室がそれぞれ2つあり、観客席は、1・2階あわせて約800席。2階には1周190mのランニングスペースが設置されています。

中野区のスポーツ振興の中心となる総合体育館は、ユニバーサルデザインに配慮するとともに、公園利用者の利便を高め、環境負荷の低減に配慮した施設であり、また、災害時には、帰宅困難者の一時滞在施設や区災害対策本部の代替施設としても活用できるように整備されています。



確かな政策! 抜群の実現力!

白井ひでふみ 2020 冬季号 NEWS

中野区議会議員 白井秀史 活動報告

発行者：公明党中野区議会議員団 中野区中野4-8-1 中野区役所3F 公明党控室



ごあいさつ

長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ご苦労をなされて方も多いことと存じます。

この間、本当にたくさんのご相談やご要望を頂いて参りました。真摯にご対応させて頂くとともに、議会での政策提案・実現に努めてきたところです。

この度の「白井ひでふみNEWS」には、この間の取り組みの一端のご紹介と、コロナ禍の区民生活の支え、区内事業者を応援するために、特に力強く提案推進して参りました「プレミアム付商品券(なかのわくわく商品券)」、また高齢者の健康支援のためのインフルエンザワクチン無料接種のご案内などを掲載させて頂きました。お忙しいとは存じますが、ご高覧を賜われれば幸いです。

中野区においては、来年度である令和3年度の予算編成の取り組みが始まっていますが、過去に例を見ないほどの税収減が予測されています。たいへん難しい賢明な区政運営の舵取りが望まれます。

区民生活への影響を最小限に抑え、真に効果のある政策・施策運営とすべく、さらに懸命に取り組んで参る決意です。

皆様のご健勝をご祈念申し上げますとともに、ご相談など何かございましたら、お気軽にご連絡を下さいますようお願いを申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

中野区議会議員 白井ひでふみ

PROFILE

- 白井 秀史(しらい ひでふみ) ●1969年7月11日生まれ
- 大阪府東大阪市出身 ●学歴：創価大学法学部卒
- 職歴：国会議員公設秘書を10年 ●資格：政策担当秘書、防災士
- モットー：現場第一 ●趣味：サッカー、読書
- 党役職：公明党議員団 幹事長、公明党東中野支部 支部長
- 所属委員会：総務委員会、地域包括ケア推進調査特別委員会、議会運営委員会、中野区議会副議長、中野駅周辺地区等整備特別委員会委員長、こども文教委員会委員長等歴任

平成19年 中野区議会議員
初当選
平成23年 当選(2期目)
平成27年 当選(3期目)
平成31年 当選(4期目)

中野区議会議員
白井ひでふみ

区政に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

■ 公明党控室 中野区中野4-8-1 中野区役所3F

TEL.03-3228-8875 FAX.03-3389-8680



ホームページ▶▶▶
<http://www.shirai.ne.jp/>



LINE▶▶▶
ID:@ukq4275w



facebook▶▶▶
「白井秀史」で検索



2020年 白井ひでふみ

議会発言

令和2年 第2回定例会 一般質問

01 新型コロナウイルス感染症に対する区の取り組みを問う

問 この間、沢山の相談、要望を受け、区へ政策提案を行ってきた。特に、区内医療機関での大規模クラスターについては、国会や都議会公明党と連携して支援の要請、要望を行ってききた。①区内医療機関での大規模院内感染への対応策は。②一律10万円の特別定額給付金の迅速な給付の実現に向け、繰り返し声をあげてきた。職員の努力に感謝する。申請・給付の現状と、少しでも早い給付のための取り組みは。★1 ③妊娠・子育て応援ギフト券と、子育て世代への臨時特別給付金の両方が未対象者への支援策を講ずべきでは。その人数は。★2 ④令和2年度歳入歳出収支の見通し、令和3年度以降の歳入の見通しから、今年度歳出削減を図るべき額の算定は。⑤コロナ禍の緊急事態の中、今後複数年の施政方針説明等を、区長自身が行うべきであったのでは。

答 ①積極的疫学調査、PCR検査、ゾーニング等の感染防

御対策の助言、マニュアルの作成支援等適宜行い、今後も継続していく。②5月末時点の申請12万9553件、給付2万9762件、給付額53億2060万円である。給付まで2～3週間要する。金融機関との調整等行ってきたが改善点があるか見直したい。③ギフト券の配付対象者拡大を検討したい。対象者は約500名である。④リーマンショック時を踏まえると、令和2年度の減収は40～45億円程度、令和3年度への影響額は、100億円超と想定される。今年度の執行見直しで、約9億円の削減を見込んでいる。⑤今後の厳しい財政を踏まえた区政運営について、区議会 や区報を通じて発信していく。

02 学習面での対策を進めよ

問 オンラインの活用や補習授業等、特に中学3年生の支援を強化すべきでは。

答 オンライン学習が効果的に活用できるよう、情報提供や支援を行い、補習授業の充実についても指導する。

★1 23区の中で早い一律10万円の特別定額給付金の給付を実現

★2 臨時特別給付金の対象拡大(妊婦にも乳児にも対象とならない制度の狭間となっている生年月日の子ども達の救済策)を実現

都議会公明と連携して都知事へ緊急要望を提出

4月15日、東京都議会公明党とともに、患者や医療スタッフの新型コロナウイルス感染が多数判明している中野区の中野江古田病院への対応について、都庁内で小池百合子知事宛に緊急要望を行いました。感染が広がらないよう全力を挙げ、同病院への都の専門医療チームを派遣することや、中野区保健所への人的支援を図るよう要請しました。

さらに、PCR検査で陰性の入院患者に関し、病院内での適切な隔離や、転院先の確保などを求めるとともに、感染者が出ている他の都内の病院に対しても支援を拡充するよう主張しました。

対応した内藤淳福祉保健局長は「情報を整理しながら対応を進める」との答弁がありました。



令和2年 第3回定例会 一般質問

01 新型コロナによる影響から区民・区内産業を守れ

問 ①長期化する感染拡大による経済への影響は飲食業界等に重くのしかかる。他区では区内商店等からの悲痛な声を受け、お徳感のあるプレミアム付商品券事業が実施・予定されている。中野区でも他区に負けない事業を実施しては。★3 ②一番影響を受けている飲食業を優遇する事業の検討と、感染拡大防止対策の推進や支援策も検討しては。③明年度以降の大幅な歳入の減少は、区発注の入札案件に影響を及ぼす。入札形式等を見直し、区内事業者を守る入札制度改革を実施しては。④高齢者・障がい者・子ども達を支援する生活主体者が、陽性による入院措置等となった場合、残された方の生活支援策

を検討しては。⑤生活福祉資金の特例貸付の更なる延長が検討されている。区独自の産業経済融資制度の貸付も延長しては。⑥国・都の情報収集に努め、PCR検査態勢の拡充に取り組むべきでは。⑦感染抑止のために中止となった修学旅行の代替案を実施しては。

答 ①中野区商店街連合会からの要望もあり、実施を検討したい。②検討したい。③一定の競争性を確保し、区内事業者の受注機会の拡大を検討したい。

④課題となる支援者等の受け皿の確保に向け、働きかけたい。⑤9月30日までの受付期間を12月28日までに再延長した。⑥積極的な情報収集に努め、地区医師会や区内病院と協議を始めている。⑤事業内容、感染防止策などについて、学校、保護者等の意見を聞きながら検討していく。

02 就学援助世帯に支援の充実を

問 GIGAスクール構想として来年3月から区立小・中学生全員にタブレットを貸与する。就学援助世帯にオンライン学習の通信費を助成しては。

答 検討していく。

03 水害リスクの周知を強化せよ

問 宅建業法改正で不動産売買や賃貸契約時に水害リスクの説明が義務化された。水害ハザードマップの周知方法等は

答 浸水予想地域への戸別配布、本庁舎等での配布、ホームページのデータ掲示等である。

★3 30%のプレミアム付商品券を実現!!
コロナ禍の区民生活を支え、区内事業者を応援するため力強く推し進めました。

※詳しくは裏表紙をご覧ください。

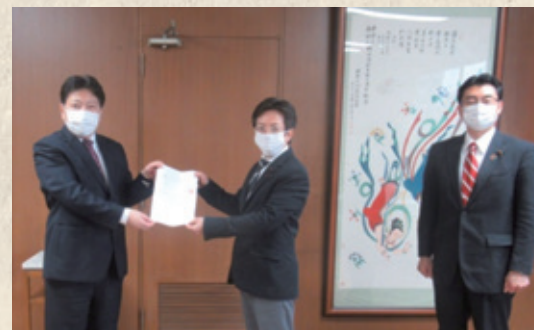
中野区長へ要望書を提出

4月13日、中野区議会公明党議員団として、酒井直人中野区長に対して、緊急事態宣言ならびに、感染が広がる江古田病院への支援策について、さらに追加の支援策として5月18日、以後幾度も緊急要望を行って参りました。

感染が拡大する区内医療機関への対策や支援策、医療提供体制の支援策、区の通常業務に制限を設けての保健所機能の強化、各種の給付金や区内事業者への支援策としての無利子・無担保の緊急経済融資制度、社会福祉協議会による生活福祉資金など迅速な対応のための相談窓口の増設などを申し入れてきました。



5月18日



4月13日



9月1日